

県高校新人陸上競技大会入賞 九州大会派遣決定

9月21日(金)糸満市西崎陸上競技場において沖縄県高等学校新人陸上競技大会が開催され、男子やり投げで本校2年6組上原雄飛(うへはらゆうと)君が47M68Cmを投げ3位入賞しました。

陸上競技で高体連大会出場そして入賞は、私が記憶している限り本校ではここ10年間はなかったかと思います。さらに、なんと九州大会派遣の栄を勝ち取るという快挙をやってくれました。

顧問の當間憲先生からは「本人は野球部に所属しているが、身体能力が高く『陸上(やり投げ)で才能を生かせたら』と考え、夏休みに声をかけ、約3週間技術練習を中心に(基礎体力は完璧)取り組んだ。試合当日の朝の練習では、投げる瞬間にやりを背中にぶつけるなど、散々な内容だったが、試合では1本目に47M68Cmを投げ上位に入り、そのまま逃げ切った。他校の指導者からも(賞賛の)声を掛けられるなど多くの方々に注目してもらった。九州大会でも県大会同様“怖いもの知らず”で大活躍することを期待している」とあり、さらに「野球部顧問をはじめ、担任、多くの先生方の応援・支援のおかげで良い結果が残せました」と謙虚で温かい言葉で締めくくりました。

本人からは「(試合では)とても緊張したのですが、しっかりと自分の力を出すことができ、とても良かったです。九州大会でもいい結果が残せるよう自分のベストを尽くしたいです」ときっぱり、次の目標に目を輝かせて話していました。

今月の大会に向けて調整中で、現在は週に4日間やり投げの練習に費やしているとのこと、派遣が決まった時は家族に大好きな「焼き肉」で祝ってもらったそうです。

やはり、人を伸ばすということは、その才能を見抜き、長所を確実に鍛える良き指導者がいてこそのことです。

これでまた、沖水のポテンシャルが開くことに繋がればという思いを込めるとともに、是非、九州大会でもコーチと選手、その度胸と力と技術で旋風を巻き起こしてほしいと願うものです。

